
人生はRPG(仮)

アンテナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人生はRPG（仮）

【Nコード】

N3808I

【作者名】

アンテナ

【あらすじ】

RPGの中の人の人生を見っていきます。

一日目

ライセンス取得！

大きな叫び声

その叫び声の方に行ってみると、正方形のメガネをした少年がいた。
山本ギル Lv.20 職業ニート
彼がこの物語の主人公だ。

西暦XXXXX 4月1日

「とうとうニート脱出！ 長かったあゝ これで、俺も働けるぜ！」
「今思えば、初期Lv.5でよくLv.20までいったなあ ニートなのに…」

いきなりだが、『山本ギル』と『この物語』について少し話そう。

2

『山本ギル』は『この世界』の中の住人でその中の1人に過ぎない。
『この世界』とは、ゲームのRPGの世界
『この世界』には、沢山の住人がいる。

今回はたまたま、山本ギルが物語の主人公になっただけである。
簡単に言えば、

「君の住んでいる世界が、ジャンルのないRPGの世界になったら
…」
って感じですよ。

それでは、山本ギル視点で見えていきましょう。

山本ギル 通称ギル

ギル「よし ライセンスもとった事だし、まずは職業屋に行くか」

ギルは、ライセンス取得屋を出て地図を見た。
地図は、行った事がある所だけを表示されている。

ギル「しまった… 職業屋行ったことねえ」

「しかたがない、街の人にでも聞いてみるか でもやだなあ 街の奴らの何人かは決まった動きと、決まった話しかないし… しかも決まって同じ人だし」

「しゃーねえ 自分で探すか」

ギルの言っていることは分かるが、決まった動きや話の固定キャラばかりではない。

ギルのように、自分の意志で動ける人は沢山いるのだ。

ギルのいる街には、たまたまギルしかいなかっただけだ。

通行人一人目。「ここは、のどかな街だよ。ここ何年間は、外部からの襲撃はないね。」

通行人二人目。「おいしい料理はいらないか？自慢の料理を食べてくれ。しかもたったの50Gだ。」

料理の選択画面が出た。

ギルは食べないを選択した。

通行人三人目。「昨日孫が生まれたんじゃ。かわいい孫じゃったわい。」

ギル「……………」

「なんも情報を得られなかった。」 「やはり自力で探すしかないな。」

ギルは歩き始めた。少し歩き廻っていると、看板が見えてきた。

「職業屋」

ギル「あつたー」

「なんだよ、こんなに近くにあんのかよ」

「俺ん家の右斜め向かいだよ」

灯台下暗しとはこの事を言う。

「職業屋」

ギル「ちやーす」

店員「ようこそ。毎月色々な職業を用意しております。」

職業には、上級、中級、初級がある。日常的に必要な職業は、初級、中級。旅に出掛けたり、モンスター退治となると、中級、上級の職業が必要となる。また、特別な職業がある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3808i/>

人生はRPG(仮)

2011年10月9日23時48分発行